



天文資料

2026年 7月号

令和8年度 第4号 (7月号)

令和8年6月25日

発行: 佐世保市少年科学館

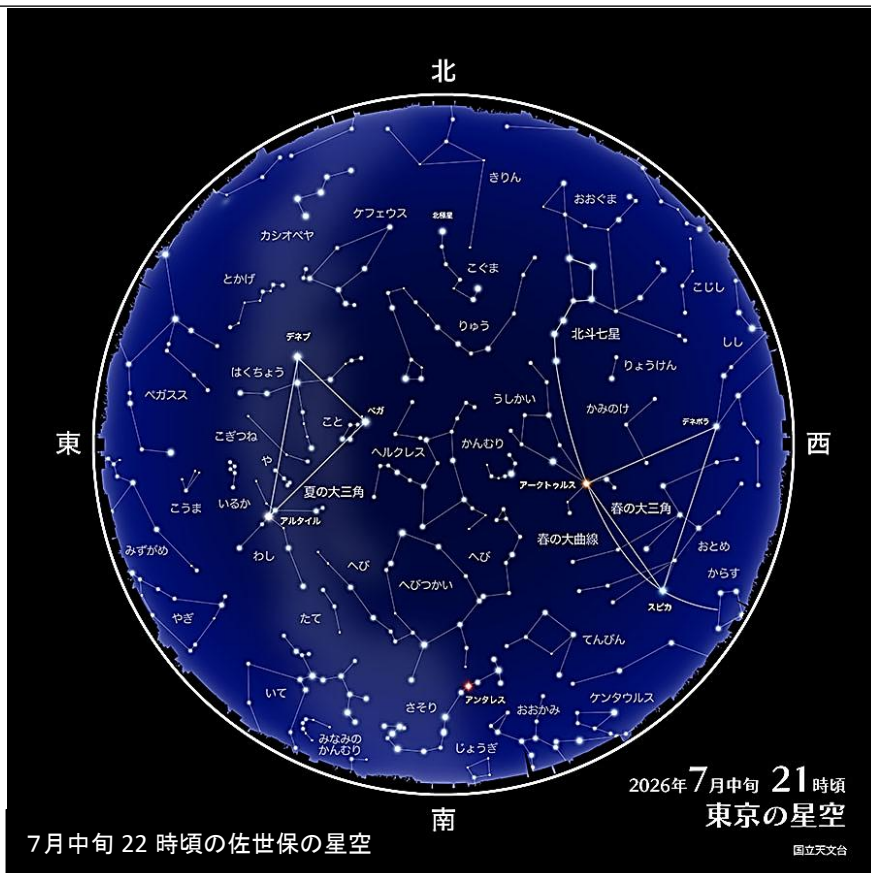
佐世保市少年科学館



<7月の星空>

7月は、日が暮れると、西の空に春の**大三角**、東の空には夏の**大三角**が見えます。街明かりがなく、空気のきれいな所では、天の川が楽しめるようになります。

日の入り後の西の空には、金星が見えています。夜半の頃には、東の空から土星が昇ってきます。未明の東の低空には、おうし座のアルデバランの近くに火星が見えています。アルデバランと火星は赤っぽく見える天体です。火星はわずかですが、日に日に位置を変えていくので、2天体の位置関係や明るさに注目して観察してみると面白いかもしれません。



・2日 半夏生(太陽黄経100度)

・7日 小暑(太陽黄経105度)

地球が遠日点通過

・21日 上弦

・23日 大暑(太陽黄経120度)

・24日 水星が留

・28日 土星が留

・29日 満月/木星が合

・31日 みずがめ座δ(デルタ)南

流星群が極大

・8日 下弦/海王星が留

・13日 水星が内合

・14日 新月

・20日 海の日/土用の入り(太陽黄経117度)

天体観望会のお知らせ 7月25日(土)19:30~20:45 (7月11日受付開始)

見頃の天体: 月, 金星, 春・夏の星座

観覧料: 小中学生150円、高校生以上320円

※当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。